

「人が育ち、共に誇れる学び舎づくり」

～西陵で 学びたい・働きたい・学ばせたい～

I 教育理念

「学校は、人が育つところ」です。西陵中学校を生徒たち一人一人が昨日より今日、今日より明日とよりよく成長を遂げる場にしていきたいと考えます。

また、学校は、生徒たちにとって「今日は楽しかった。明日も頑張ろう!」と毎日思える、楽しく安全な場所ではなくてはなりません。その「楽しさ」は単に「おもしろい、楽(らく)」な「楽しさ」ではなく、「学び、理解し、できるようになる楽しさ」「難しいことに挑戦してやり遂げる楽しさ」「仲間と力を合わせ、心がつながる楽しさ」など、生きる力につながる楽しさでなくてはなりません。

西陵中学校に学ぶ生徒たちが皆、**学ぶことや運動することが好きで、自分と仲間を大切に思い、何事も最後までやり抜ける人**として育っていくことを願います。

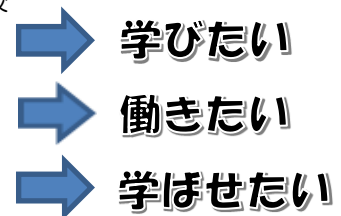
そのために、「教育は未来を創る営みである」ことを深く自覚し、一人一人を大切にした指導を全教職員が「**チーム西陵**」として進め、「生徒にとって学びたい学校」、「教職員にとって働きたい学校」、「保護者・地域にとって通わせたい学校」づくりを進めていきます。

II 学校教育目標

1. 強い心でたくましく生きる
＜責任を重んじ、自分に負けない根気強い人を育成する＞
2. 豊かな心でふれあいを大切にする
＜情操豊かで、心優しく協調性のある人を育成する＞
3. 広い心で真理を探究する
＜自主性に富み、創造性豊かな人を育成する＞

III めざす学校像

- 生徒が進んで学び、夢や希望をもち明るく生き生きと活動している学校
＜生徒の夢が育つ学校＞
- 教師が互いに研鑽し、切磋琢磨する学校
＜教師の夢が生きる学校＞
- 教育実践や交流を通して、保護者・地域に信頼され、連携する学校
＜保護者・地域の夢が叶う学校＞



IV めざす生徒像

(イメージする具体的な姿)

- ＜知＞ 意欲的に学び、創意工夫あふれる向上心旺盛な生徒
- ＜徳＞ 明るくけじめある言動と心豊かな生徒
- ＜体＞ 諸活動に力を合わせ、粘り強くたくましく実践する生徒

V めざす教師像（使命感に燃える教師）

- ◆生徒理解に努め、一人一人を大切にしている教師
- ◆研修に励み、わかる授業の創造に努める教師
- ◆豊かな発想で、新たな創造に喜びをもつ教師
- ◆仕事に責任をもち、協力し合う教師



<生徒と教師の共通行動指標>

「時を守り、場を清め、礼を正す」

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|-----------------|
| ◎時を守るとは | 「相手を尊重する」 | →信用される生徒と教師 | 5分前準備完了 |
| ◎場を清めるとは | 「感謝する」 | →気がつく生徒と教師 | 一日一尽 |
| ◎礼を正すとは | 「心を開く」 | →爽やかな生徒と教師 | 先手挨拶、即返事 |

VI 学校課題と年度の重点課題

<学校課題>

- 1 「チーム学校」として学力向上を軸に学校改善を推進し、学校力の向上を目指す
- 2 変革型組織マネジメントを機能させ、働き方改革を通して指導効率を高める
- 3 保護者や地域、関係機関との連携・協働、整理により、教育環境整備を推進する

<年度の重点課題>

教育経営

- 1 身に付けさせたい資質・能力に基づいた、カリキュラム・マネジメントの展開
- 2 道徳を核とした「主体的・対話的で深い学び」の観点による授業改善の推進
- 3 生徒指導の機能を生かした適切な指導と健康・安全、体力づくりの充実

教育システム

- 1 保護者、地域から信頼され、苦情件数を減少させる組織マネジメントの展開
- 2 社会状況等を踏まえた意図的、計画的で新たな工夫による校内研修の推進

VII 学校経営方針と具体策

<教育経営>

—方針—

- 新学習指導要領に向けた教育課程の展開、学習過程を重視した指導と評価の一体化に努め、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性という資質・能力を確実に身に付けさせる。
- 学年ごとの到達目標の設定、個に応じたきめ細かな指導、エリア・ファミリーで展開する学習環境の適切な整備により、確実に学力を向上させる。
- 生徒指導における教育相談の機能を生かして生徒理解を深めるとともに、各分野、教育課程外教育活動における指導の質を高める。
- 「全校安全集会」等を活用し、命や思いやりの心の大切さ等、あらゆる機会を生かし捉え指導する。
- 横断的な教育課程を重視し、健康・安全教育の充実と体力の向上をキャリア教育に位置付け取り組む。

―具体策―

～確かな教育課程，学力向上～

- 各教科における到達目標の設定と，ねらいを踏まえた指導の徹底（SWOT分析による）
- 特別支援学級における個に応じた教育課程の展開と指導の充実
- エリア・ファミリーと連携した学習規律・生活規律の整理・統一と徹底
- 全教職員による学校改善プランの検証，学力調査分析等によるスピード感のある改善
- 学校力向上や指導方法工夫改善加配，特別支援補助員の活用による個に応じた指導の充実
- 各家庭の役割を明らかにした連携と学習習慣の定着（学習時間の確保），生活習慣の改善

～命や心を大切にす教育と生徒理解の強化による生徒指導の充実～

- 危機をチャンスと捉え，あらゆる場面でスピード感をもって組織的に対応できる体制の確立
- 全教職員によるいじめ防止基本方針の検証・改善と，不登校への組織的な対応の充実
- 道徳の教科化に向けた準備と授業の積極的な公開，「私たちの道徳」の効果的な活用
- 問題点を先取りした「情報モラル教育」「人権教育」「奉仕活動」の充実

～健康・安全教育と体力の向上～

- 地域と連携した交通安全教室，防犯教室，薬物乱用防止教室，防災訓練等の充実
- 各種調査，部活動の実態を踏まえた体力向上，栄養教諭と連携した食に関する指導等，様々な取り組みを横断的に展開するキャリア教育の充実

<教育システム>

―方針―

- 学校全体で，誠意とスピード感のある危機管理に努め，苦情を減らす。
- 教職員一人一人の結びつきを強化して同僚性高め，内外に開かれた強い学校を目指す。
- 今後必要な指導スキルを明らかにするとともに働き方改革を推進し，業務を整理して機動性を高める。
- 学校力向上にかかわる計画的で見とおしをもった校内研修の推進，実践的な演習等の実施により確実に指導力・対応力の向上を図る。
- 公教育に携わる組織体・公務員として法令遵守の徹底に努め，不祥事を根絶する。
- 将来のCSや一貫校を視野に入れて，充実した学習環境の整備，地域・関係機関との連携に努める。

―具体策―

～適切な危機管理～

- マイナス情報の素早い報告と全職員による情報共有やシミュレーションによる危機意識の醸成
- 学校全体による組織的な初期対応の展開（管理職やスクールリーダーのリーダーシップの発揮）
- いじめや不登校，問題行動などの未然防止や「いつでも対応できる」体制整備
- 日常的な演習の蓄積による適切な初期対応能力の向上
- 学校力向上実践事業の組織改善への徹底的な活用による，課題解決力の向上
- 教育課程の管理，適正な学校経理，学校情報の管理，服務規律等の徹底

～働き方改革を踏まえた実践的な指導力の向上～

- これまでの伝統にとらわれないカリキュラムマネジメント，指導体制の整理，指導方法等の改善
- 様々な評価情報の活用による自己の指導を振り返る機会の拡充と業務の効率化
- 保護者への適切な教育情報の発信と説明，還元情報の活用

～エリア内連携と学校運営の情報提供義務，法令遵守の徹底～

- エリア内連携による「学び直し」時間の削減と個に応じた指導の時間確保
- 経営方針，学校運営の検証・改善結果，学校評価や教育課程の状況等の公表と情報共有